

<p>東日本大震災 対策本部情報</p>	<p>69号</p>	<p>2011/04/17 13:30現在</p>
--------------------------	------------	-------------------------------

各地本委員長殿

全地本委員長会議の被災地視察の様子が 上毛新聞に掲載されました！

4月17日付け上毛新聞に、高崎地本堀口委員長の新聞投稿が掲載されました。4月7～8日、仙台地本管内で開催した全地本委員長会議終了後、視察をかねて救援物資を東松島市の人たちに届けた際の被災地の様子や支援活動への思いがつつられています。7日深夜には震度6強の余震が発生し、一部のライフラインがダウンするなどしましたが、一步一步の復旧・復興に向けて全組合員が一丸となって取り組み、支援していきましょう。

地道な支援を継続
堀口 真明（安中市・47）

7日深夜に仙台の宿泊所で震度6強に襲われました。突き上げられる揺れで空間がゆがみ、棚が倒れ、物が散乱し停電と断水になりました。その一瞬は生きた心地がしませんでした。激震の体感は、3月11日を思い起こしました。

翌日に職場から寄せられた救援物資を東松島市の人たちが避難している施設に届けました。沿岸の建物は跡形もなく、がれきの山で破壊された車や散乱した家財道具があちこちにあり、線路はなくなり電車は「くの字」に曲がっていました。その周辺では自衛隊員が捜索活動を行っています。被災地を目の当たりにし、テレビで見ただけの黒い波がうねりながら街をのみ込んでいった光景が脳裏に浮かびました。

亡くなられた方々のご冥福をお祈りしました。被災者に物資を渡しましたが、どんな言葉も掛けていいか戸惑いました。「体に気を付けてください。力になりますから」と言いました。

震災復興に向けて長い道のりになると思いますが、地道な支援活動を続けていきます。

一日も早い復旧・復興へ、一人一人が出来ることを一丸となってやりきろう！

J R東労組本部